手に入れたのは生涯忘れられない経験と未来を切り拓く勇気

平成15年度
「国際青年育成交流事業」（第10回）
トルコ派遣団員

千葉大学医学部医学科在籍

宮地　秀明

20歳、大学3年生の春に、私は内閣府の青年国際交流事業に出会った。大学内の掲示を見て早速足を運んだ説明会では、前年度の参加青年がいきいきとした表情で自分たちの経験を語ってくれた。その後、すぐに応募を決意したことが思い出される。

この事業の醍醐味は、同年代の青年との濃密な交流にある。彼らとの真剣なディスカッションを通じて、異なる価値観について尊重し合うことを学び、コミュニケーション能力や国際感覚が養われる。異文化の中で自らを見つめ直す過程では、母国の良さに気付くことも多い。また、生涯忘れられない経験を共有することで、大切な友情が芽生える。こうしたことの一つ一つが、今、私の大きな財産になっている。

派遣から8年以上の月日が経ち、応募書類を読み返してみた。当時は工学系の専門をいかした研究者として、地球規模の環境・エネルギー問題の解決に貢献したいという思いを持っていた。しかしながら、私は研究者となる進路を変更し、医学部へ編入学する道を選んだ。事業への参加や事後の活動を通じて、人と直接触れ合うことのできる仕事に魅力を感じたことが一つの大きなきっかけになった。この進路変更を選択する際には不安や迷いも大きかったが、事業で出会った友人たちがかけてくれた応援の言葉や、彼ら自身が自由な発想で信じる道を精一杯生きている姿が、私の選択を後押ししてくれた。

私は、いつか友人たちと共に世界の人々に貢献できる医師・医学者となることを夢見ながら、まずは病気に苦しむ身近な患者1人1人を救うことのできる医師を目指している。医師としての確かな力を得てから、国際社会で活躍する仲間とも協力し、夢の実現に向けて、世界に羽ばたいていきたい。この事業への参加がその大きな一歩になっていることは確かである。私のような人生設計をする者にも未来を切り拓く勇気を与えてくれる懐の深さが、内閣府の青年国際交流事業にはあると思う。

「生涯忘れられない経験と未来を切り拓く勇気」、皆さんも手に入れてみませんか。

ターニングポイント～表面的でない真の国際交流がしたいあなたへ

平成13年度・21年度
「東南アジア青年の船」事業（第28・36回）
日本参加青年

チョコレート専門店「Dari K（ダリケー）」（京都）経営者
（金融アナリストから転身）

吉野　慶一

外国人と英語で会話して友達になる。これも立派な国際交流ですが、「東南アジア青年の船」事業では、これは序章に過ぎません。約50日間、ASEAN各国の仲間たちと船上及び各寄港地で寝食を共にしながらホームステイやディスカッション、文化紹介、課題別視察というプログラムを体験するこの事業。そこには本やインターネットでは分からない情報、文字でなく語り合うことで理解する同世代の若者の熱い思い、未来を一緒に語り合う空間があります。

この事業に参加する前に働いていた金融業界から見るASEANは、まさに成長著しい市場でした。そこに生きる若者とアジアの将来を語りたい、そんな期待を胸に私はこの事業に参加しました。とはいえ、ASEANと一括りにしてもそこは人種や宗教、文化など実に多様な10か国。決められたディスカッションの時間が終わっても、尽きることのない議論。自国の問題、他国の課題、自分の考え、彼らの想い。そこで求められるのは単に語学力や知識にとどまらない、積極性と行動力でした。

学生時代から留学をしたり、世界50か国以上を歩き回ったりと国際交流には慣れていたつもりが、この事業に参加すると毎日が新しい発見と驚きの連続。各国の現状や課題を言い合うだけでなく、それを改善・解決するために私たちに何ができるか、そして何をすべきか。具体的なアクション・プランまで語り合える仲間と出会ったことで、私は新たな一歩を踏み出す決断をしました。それは、知られざる世界第3位のカカオ輸出国であるインドネシアと日本をつなぐこと。これまでのキャリアとかけ離れたことではありますが、本当に人生を賭けてもいいと思えたことを見つけた瞬間でもありました。

同期であるASEAN各国の参加青年はもちろん、参加年度が異なれど、この国際交流事業に参加したというだけで歴代の参加者が世界各国から応援してくれる現在。この事業は確かに私の人生のターニング・ポイントになりました。そしてそれは私だけでなく、多くの参加青年にとってそうであると確信しています。ありきたりの国際交流では飽き足りないあなたへ、東南アジアの今を五感で感じ、各国の仲間と未来を一緒に拓きませんか？

都道府県連絡先一覧

※ 募集期間及び中間選考日は予定です。また、都道府県への応募は、原則として、応募時点の住民票住所の属する都道府県青年国際交流主管課（室）を窓口としていますが、都道府県により取り扱いに違いがありますので、詳しくは、下記の各都道府県青年国際交流主管課（室）までお問い合わせください。

都道府県	主管課等名	電話番号（内線）・直通		募集期間		中間選考日
北海道	総合政策部知事室国際課	011-231-4111	（内線）22-223	2/10～3/23	必着	書類選考
青森県	環境生活部青少年・男女共同参画課	017-734-9226	●	2/1～3/21	必着	4/14
岩手県	環境生活部青少年・男女共同参画課	019-629-5346	●	2/6～3/23	必着	4/8
宮城県	環境生活部共同参画社会推進課	022-211-2577	●	2/2～3/30	必着	4/13
秋田県	企画振興部学術国際局国際課	018-860-1219	●	2/13～3/23	消印有効	4/13
山形県	子育て推進部青少年・男女共同参画課	023-630-2101	●	2/15～3/30	必着	書類選考
福島県	生活環境部人権男女共生課青少年育成室	024-521-7187	●	2/8～3/28	必着	4/8
茨城県	知事公室女性青少年課	029-301-2183	●	2/1～3/8	必着	3/18
栃木県	県民生活部青少年男女共同参画課	028-623-3076	●	2/1～3/23	消印有効	書類選考
群馬県	生活文化部少子化対策・青少年課	027-226-2392	●	2/8～3/26	必着	4/10
埼玉県	県民生活部青少年課	048-830-2907	●	2/1～3/21	必着	書類選考
千葉県	環境生活部県民生活課	043-223-2291	●	2/6～3/23	必着	書類選考
東京都	教育庁地域教育支援部生涯学習課	03-5320-6859	●	2/1～3/2	消印有効	書類選考
神奈川県	県立青少年センター指導者育成課	045-262-4466	●	2/10～3/18	必着	書類選考
山梨県	教育庁社会教育課	055-223-1356	●	2/6～3/16	必着	4/7
新潟県	福祉保健部児童家庭課	025-280-5214	●	2/6～3/16	必着	4/4
富山県	厚生部児童青年家庭課	076-444-3136	●	2/13～3/21	必着	4/15
石川県	観光交流局国際交流課	076-225-1382	●	2/1～3/16	必着	4/7
福井県	安全環境部県民安全課	0776-20-0745	●	2/15～3/30	必着	4/8
長野県	企画部次世代サポート課	026-235-7210	●	2/6～3/21	消印有効	書類選考
岐阜県	環境生活部男女参画青少年課	058-272-8238	●	2/8～3/21	必着	4/12
静岡県	教育委員会事務局社会教育課	054-221-3312	●	2/6～3/12	必着	3/24
愛知県	県民生活部社会活動推進課	052-954-6175	●	2/6～3/26	消印有効	書類選考
三重県	健康福祉部こども局こども未来室	059-224-2404	●	2/7～3/19	消印有効	4/7

都道府県	主管課等名	電話番号	・直通	募集期間		中間選考日
滋賀県	健康福祉部子ども・青少年局	077-528-3557	●	2/1～3/23	必着	4/15
京都府	府民生活部青少年課	075-414-4302	●	2/10～3/16	必着	4/5
大阪府	政策企画部青少年・地域安全室青少年課	06-6941-7681	●	2/1～3/16	必着	[illegible]
兵庫県	企画県民部県民文化局青少年課	078-362-3143	●	2/1～3/22	必着	4/7
奈良県	くらし創造部青少年・生涯学習課	0742-27-8815	●	2/10～3/30	必着	書類選考
和歌山県	環境生活部県民局青少年・男女共同参画課	073-441-2590	●	2/1～3/26	必着	4/7
鳥取県	文化観光局交流推進課	0857-26-7030	●	2/3～3/16	必着	書類選考
島根県	環境生活部文化国際課	0852-22-6459	●	2/1～3/23	消印有効	書類選考
岡山県	県民生活部男女共同参画青少年課	086-226-0057	●	2/13～3/30	必着	書類選考
広島県	環境県民局県民活動課	082-513-2740	●	2/1～3/19	消印有効	[illegible]
山口県	地域振興部観光交流局国際課	083-933-2343	●	2/1～3/30	必着	4/13
徳島県	県民環境部男女参画青少年課	088-621-2176	●	2/1～3/26	必着	4/7又は4/8
香川県	総務部県民活動・男女共同参画課	087-832-3195	●	2/6～3/16	消印有効	[illegible]
愛媛県	県民環境部管理局県民活動推進課	089-912-2415	●	2/13～3/23	消印有効	4/10～4/17
高知県	文化生活部文化・国際課	088-823-9605	●	2/1～3/23	消印有効	[illegible]
福岡県	新社会推進部青少年課	092-643-3386	●	2/15～3/19	必着	4/1
佐賀県	くらし環境本部こども未来課	0952-25-7350	●	2/1～3/23	消印有効	4/8
長崎県	教育庁生涯学習課	095-894-3265	●	2/6～3/23	必着	4/9～4/13
熊本県	環境生活部県民生活局くらしの安全推進課	096-333-2294	●	2/6～3/23	必着	4/11
大分県	生活環境部私学振興・青少年課	097-506-3076	●	2/13～3/23	消印有効	4/14
宮崎県	県民政策部文化文教・国際課	0985-26-7029	●	2/3～3/23	必着	4/13
鹿児島県	県民生活局青少年男女共同参画課	099-286-2557	●	2/1～3/23	必着	書類選考
沖縄県	福祉保健部青少年・児童家庭課	098-866-2174	●	2/1～3/30	必着	4/4～4/10

内閣府子ども若者・子育て施策総合推進室　青年国際交流担当
〒100-8970　東京都千代田区霞が関3-1-1
電話（03）3581-1181（月～金　9:30～18:15）

http://www.cao.go.jp/koryu/

内閣府青年国際交流事業　事後活動ニュース　FY2011 Vol. 03 通巻三号季刊発行　発行：内閣府政策統括官（共生社会政策担当）

内閣府青年国際交流事業　事後活動ニュース　FY 2011 Vol.03

内閣府青年国際交流事業

平成24年度 募集特別号

内閣府

内閣府　国際交流　検索